

2021.5月号

ハノイ日本人学校 学校便り

令和3年5月4日

## こころの道

# Nhân hậu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン

### 伝説

明石 清二

フン王は、「龍の子」と「仙人の子」の間に生まれたとそこには書かれていました。過日の祝日である「フン王を祭る日」では、本来ならば盛大に祭りが行われていたのでしょうか。

フン王は、歴代王の総称であり、18人のフン王が存在したと聞きました。在位期間は短くて80年、長いと339年とも。さすが、龍神と仙女の子孫だけあります。これだけの在位期間があれば、じっくりと国作りをすることができます。

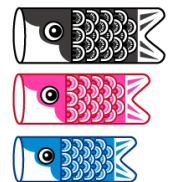
では、国作りの基本とは何か。それは、民意をどれだけ施策に反映できるかだと考えています。行おうとする施策が私利私欲ではなく、また、一部の人の満足でもなく、多くの方々が納得できる効果であってほしいものです。この意味では、民意が反映されない国や地域があるようにも感じられます。この事実をどう受け止め、どう対処するのか、とても難しい問題です。今、私にできることは、過酷な環境に置かれている方々の状況を知ることであり、何ができるのかを考えることと捉えています。具体的な行動に移すことは難しい問題もあります。それでも考え続けること、考え続けることで適切な答えが見つかるかもしれません。

歴代のフン王なら、この問題にどう対応するのでしょうか。もしかすると伝家の宝刀を持っているのかもしれませんが、あるいは、さらさらと一降りすれば問題を解決できる何か魔法の薬を講じるのかもしれませんが。

残念ながら、私は宝刀も魔法の薬も持ちあわせていませんので、書いたり話したりするのが私の術です。学年によっては、授業の中で国際問題を取り上げます。子供たちにも現状を把握させ、今後、どう対処すべきなのかを考えさせていきます。

「眠られない者に夜は長く、疲れた者に道は遠い」と聞きます。その日に食する物が無く、やせ細っていく子供たちが大勢いる反面、食べ残す私がいる現実は、間違っています。国の境目が生死の境目であってはなりません。私も持続可能な生活の実現に向け、今後も努力を継続します。

世界中の子供たちが大きな夢をもち、自分の可能性を試しながら安心して暮らすことのできる日が到来することを切に望みます。



### 授業参観ありがとうございました

子供たちは、大人が考える以上に御家族が来校されるのを楽しみにしています。参観日には一生懸命に考え、一生懸命に行動する姿が見られました。子供たちには、「今日、学校にきたら、昨日までの自分はいない」ことを話しています。「昨日まで知らなかったことを知り、昨日までできなかったことができるようになる。そして、友達のことをよく知る。」それが学校なのだよ、と。授業参観日は、正に子供たちの大活躍の場。御連絡の上、いつでも参観されてください。お待ちしております。